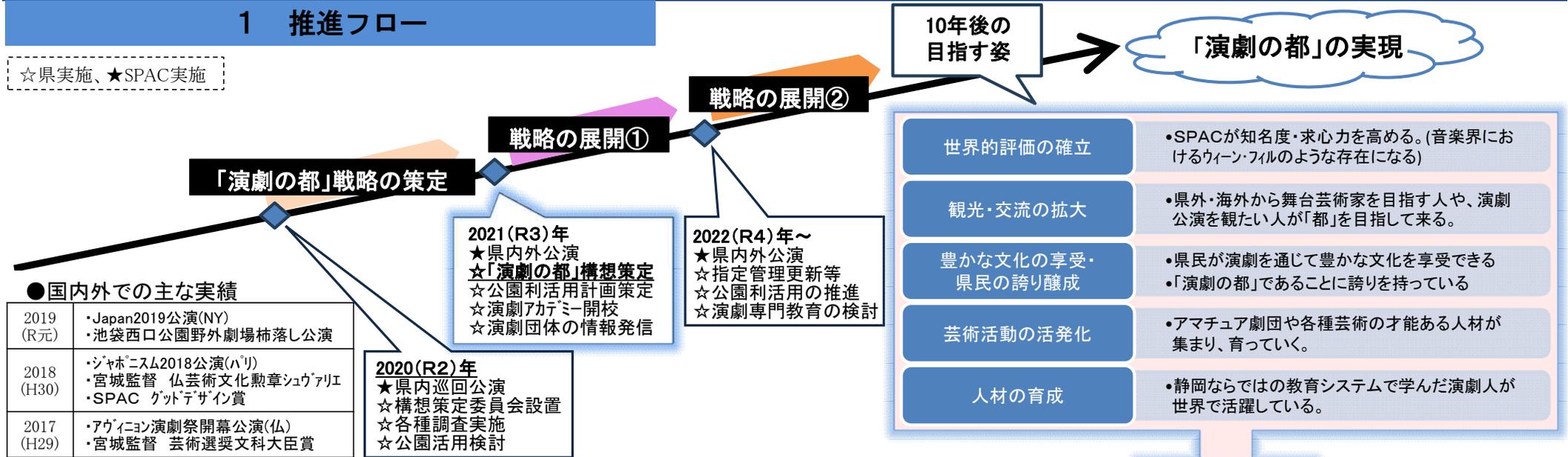


# 「演劇の都」構想の実現に向けて

## 1 推進フロー

☆県実施、★SPAC実施



## 2 「演劇の都」構想の策定（令和3年7月）

### ○ 策定組織

氏名	現職	分野
大久保 あかね	静岡県立大学ツーリズム研究センター 副センター長	広報、観光
太下 義之	同志社大学 経済学部経済学科教授	有識者
渋谷 浩史	スポーツ・文化観光部理事(文化担当)【委員長】	県
橋爪 充	静岡新聞社 編集局文化生活部部長兼論説委員	マスコミ
花崎 武彦	県教育委員会 高校教育課学校づくり推進室長	教育
宮城 聡	SPAC 芸術総監督	SPAC

### ○ 「演劇の都」の定義

象徴に県立劇団SPACを据えながら、演劇をテーマとして、多くの人々が集い、参画できるイベントが行われ、拠点としての劇場や公園、周辺の文化・観光施設まで含めて地域全体が演劇をキーワードに活性化する状態

### 目指す姿

- 本県の舞台芸術を目指して国内外から多くの人々が訪れる
- 舞台芸術が県民にとって身近な存在であり、誇りとなる
- 舞台芸術の振興をきっかけとした本県文化力の向上

## 3 構想の内容と具体策

